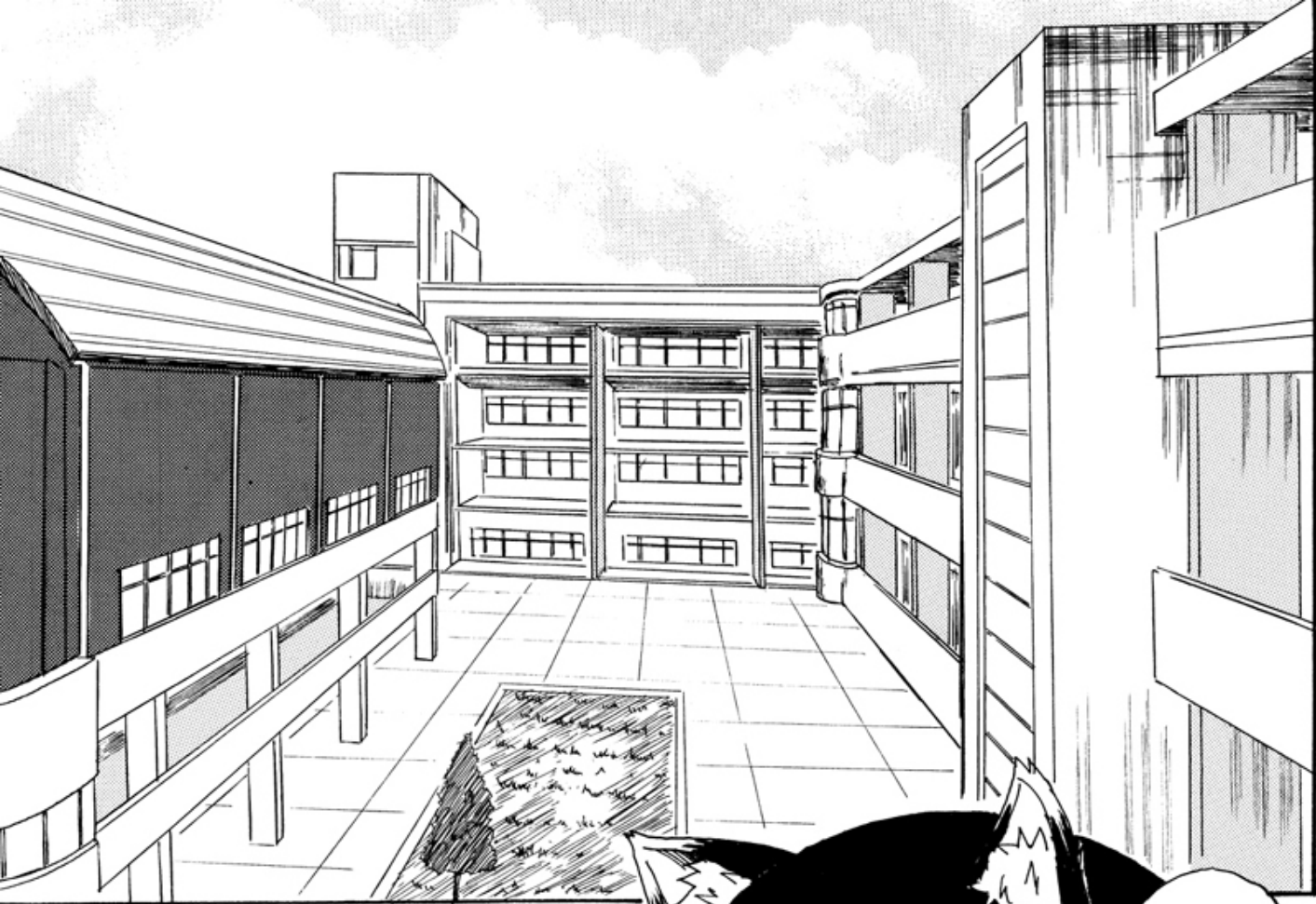


巫
見^{ガキ}
波^ハ
乱^{ラン}
記^キ

轟
翔太







ああ
問題ないよ

申請は
した



あとは
了承を
得るだけだ



それで？

部費の件は
どうなったの？

ネネカ

寧々歌

<使い魔>

織幡 千鶴

おりはた ちずる

部費の件
考えといて
くださいね〜!

会長お!

ドド

カヤ
カヤ
カヤ

騒がしいな

ああ
その件に
ついての事だな

はじはじ

どろ

ズズ...

生徒会室

ん?

だああああああああああああ
どいつもこいつも部費部費部費

しるせええええええええええ

とくに
こいつ!

こいつ一番
ムカつきますわ



部費出願書	
部活動名	オカルト研究部
希望金額	百万円
使用目的	入院費



神木 玲夜

かみき れよ



あらあら
噂をすれば
オカ研の
神木じゃない

…ていうか

髪切った？

え？
切ってないけど！？



そう…

じゃ
ごきげんよう

待って待って！

話があるんだ
聞いてくれ！

人払いは
済ませといた
から

あら
それは
助かりますわ

…お？
いい感じだ



…は？

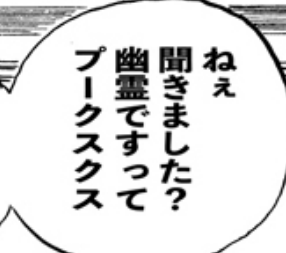
なぜ？

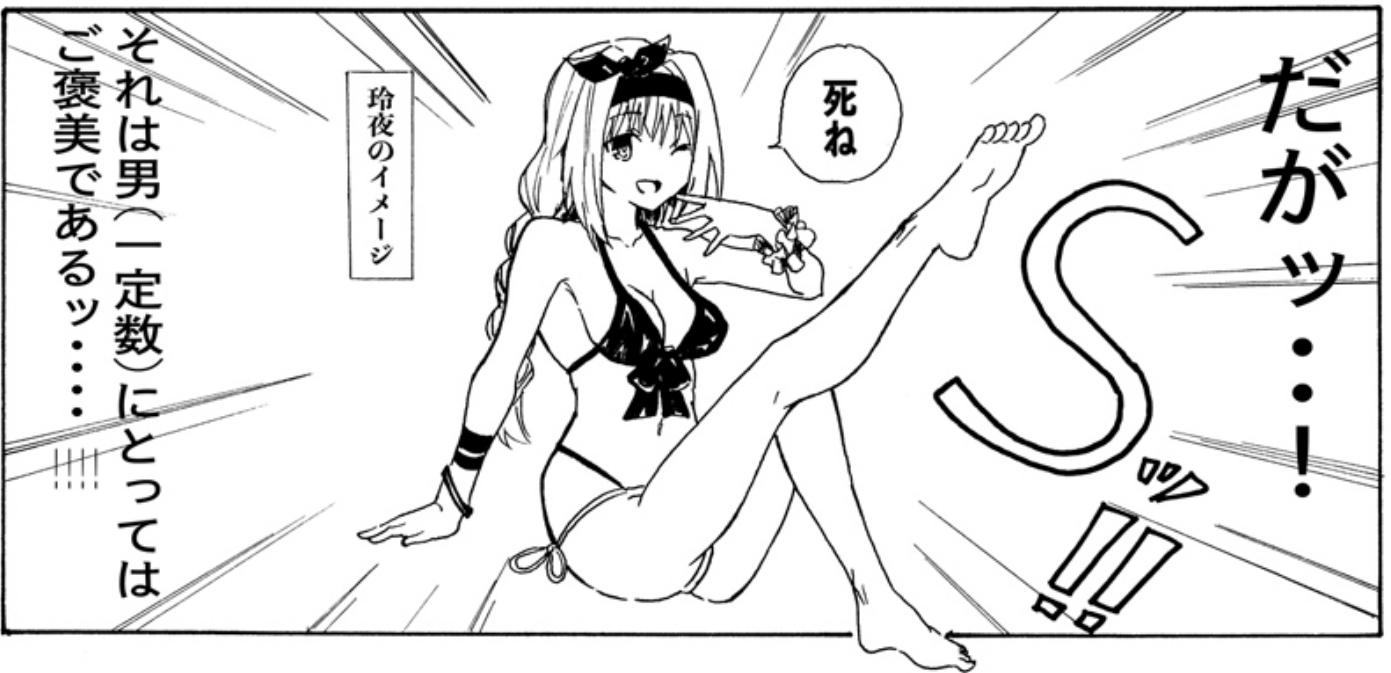


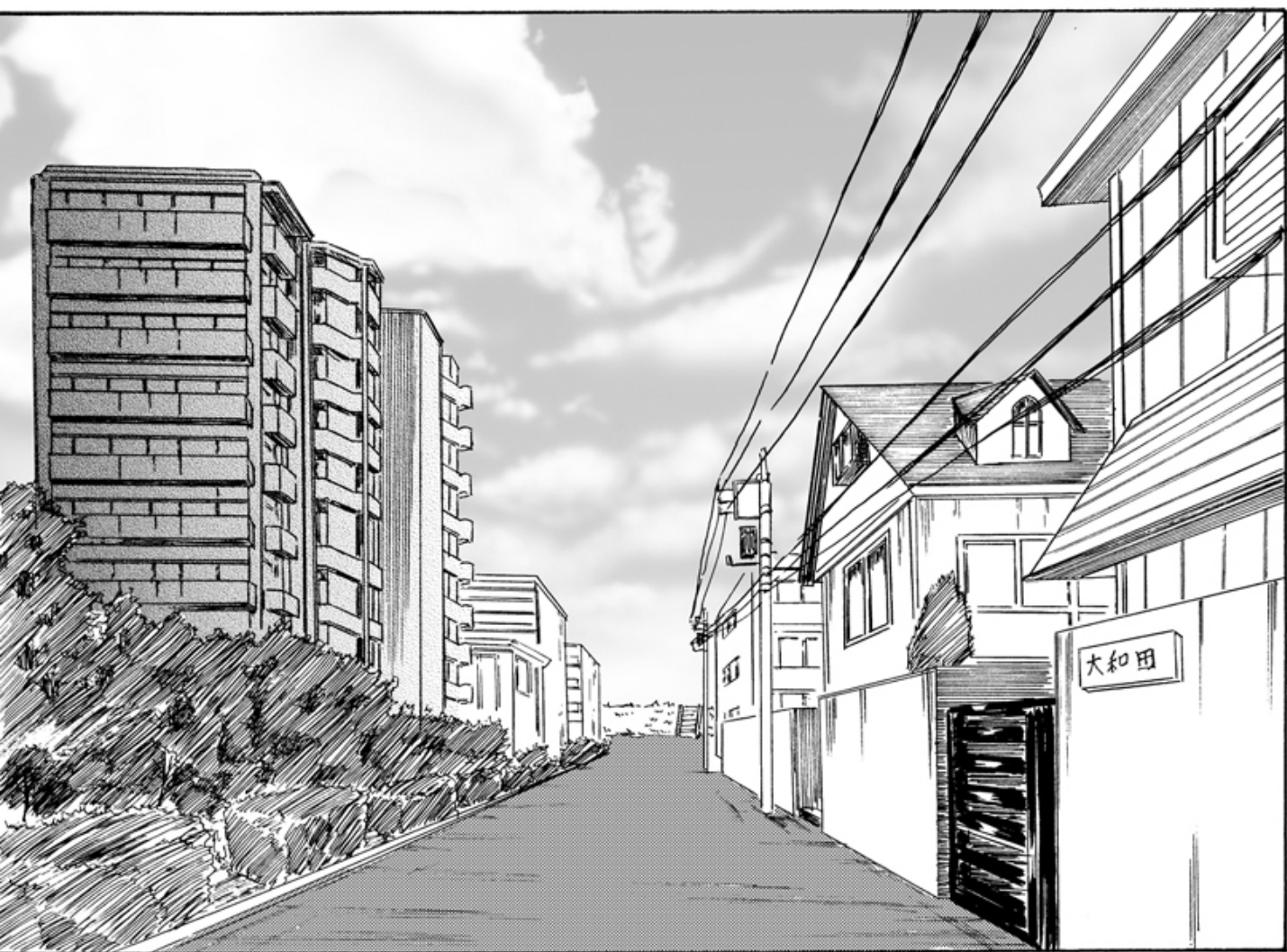
いいか？

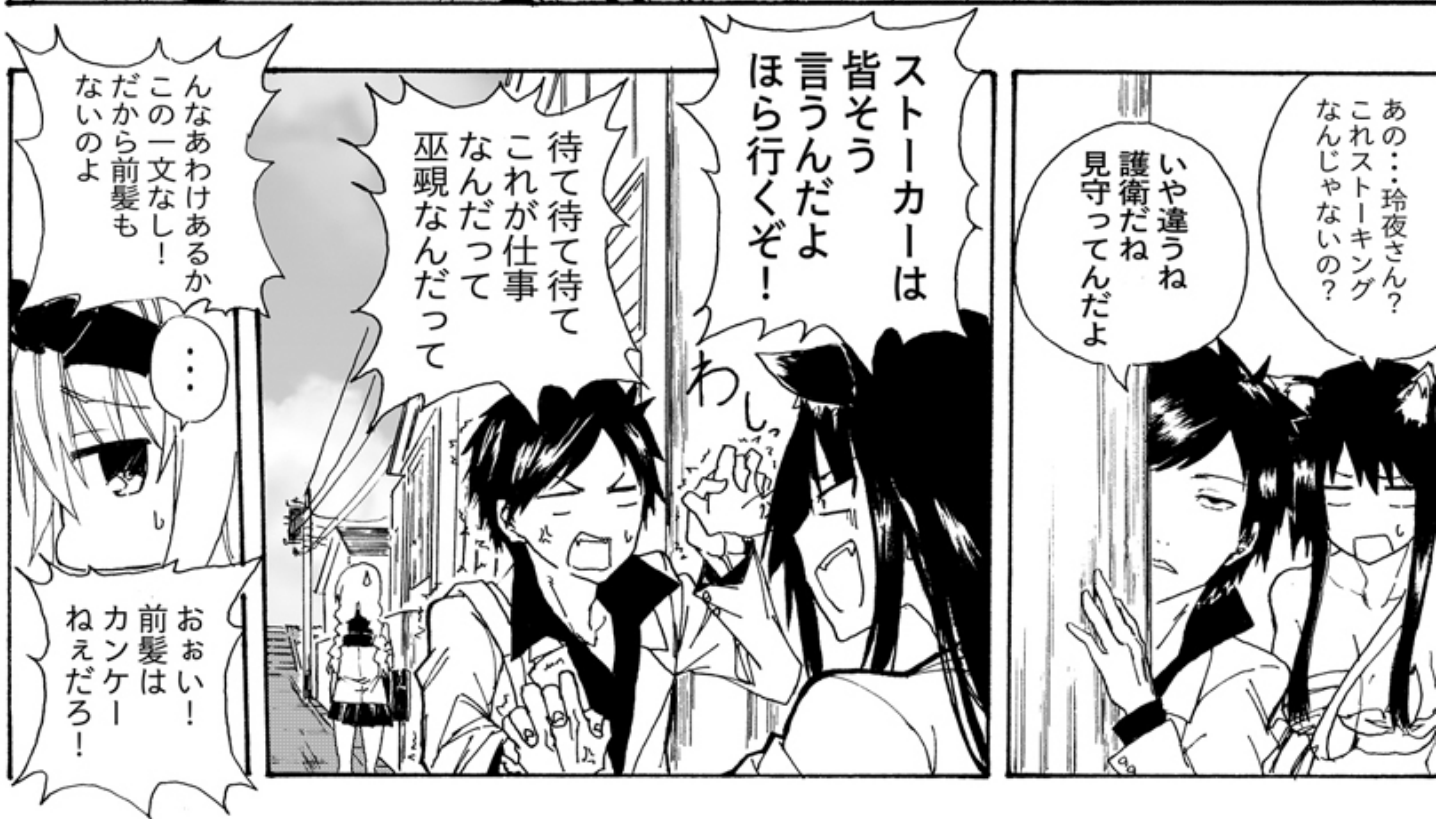
今
オカ研の部費を
上げなければ

大変な事に
なるんだぜ？





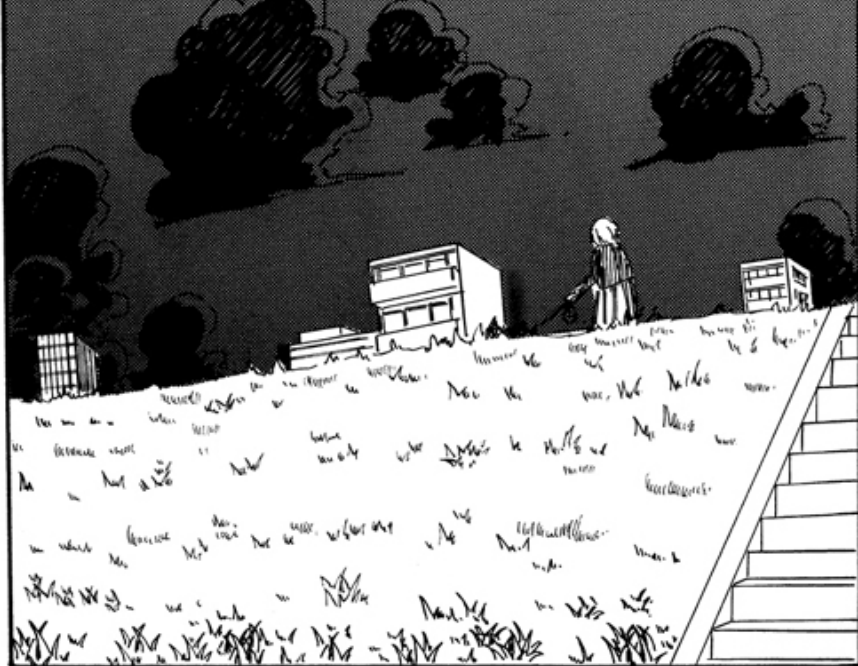






「巫覡」
ふげき
?」

ああ



はええ・

なんか
面白そうですね



俗に言う
『巫』や『巫女』の
総称で



でもなんで
私に用が……?
あつ

私の事
好きなんですの
?

鈍感か

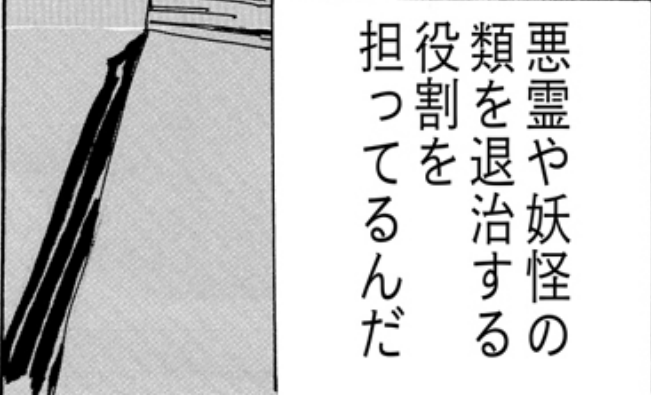


「巫術」という
神降ろしの術を
用いて神や霊を
使い魔とし



そうじゃ
なくて!

アンタが
危ないって
言ってたんだよ



悪霊や妖怪の
類を退治する
役割を
担ってるんだ

なあ
心当たりは
ないか？
例えば…

最近身近な
人が
亡くなったとか

亡く…
なった…



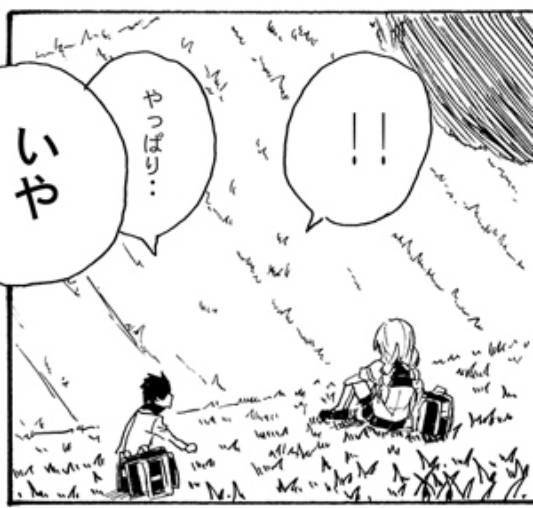
いや

やっぱり…

!!

そんな

あなたには
関係ない
じゃない

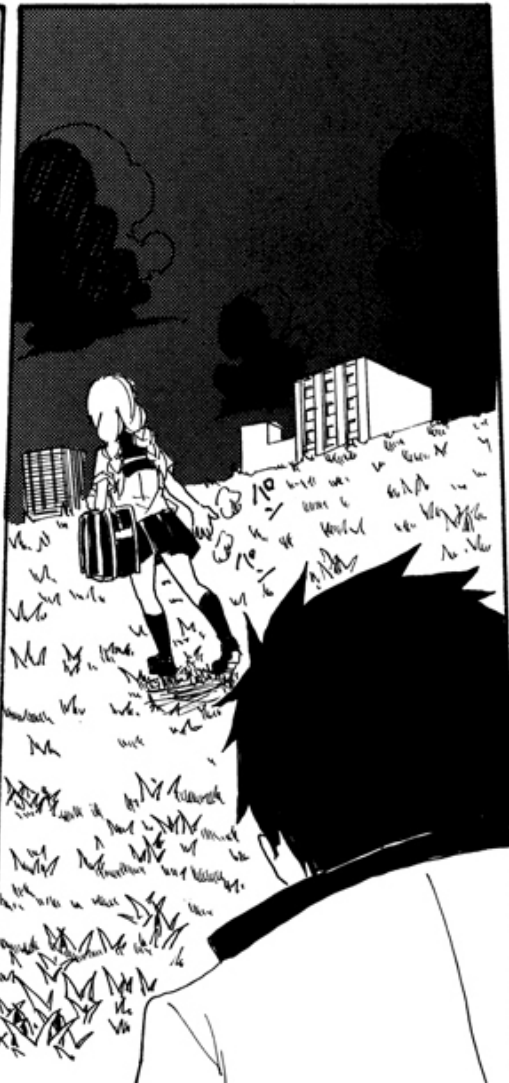


部費の件なら
検討
しときますわ

ちあ
よっ

なんだ
の
か？

うるさいなあ







千鶴



元気そうじゃないか

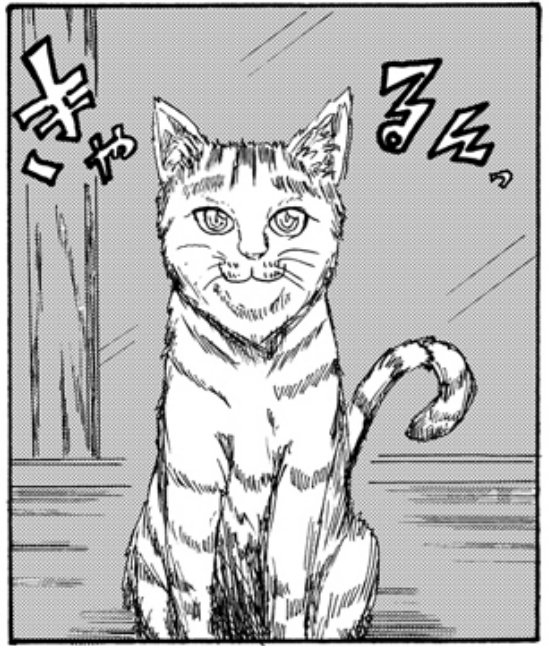
やあ

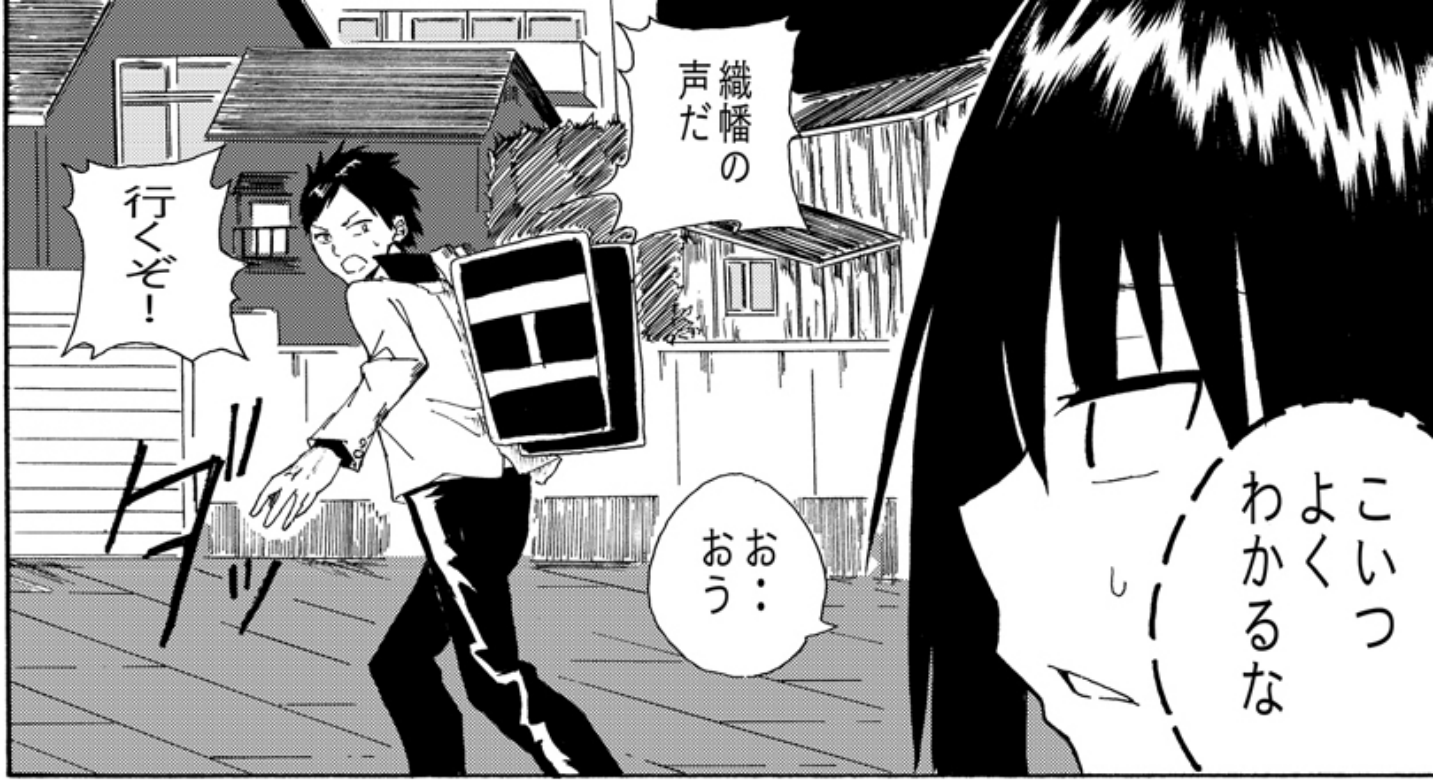
ドッ

ドッ

ドッ

ドッ







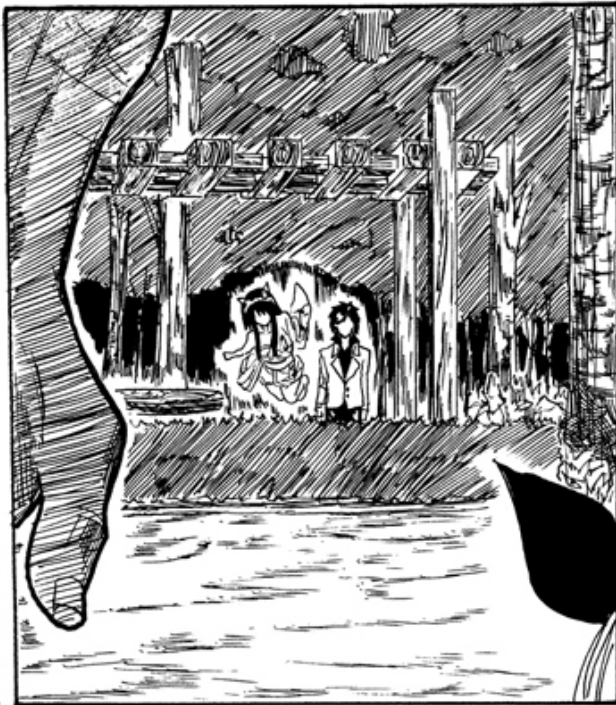


妹であるお前が
憎いことは
覚えて
いるんだ

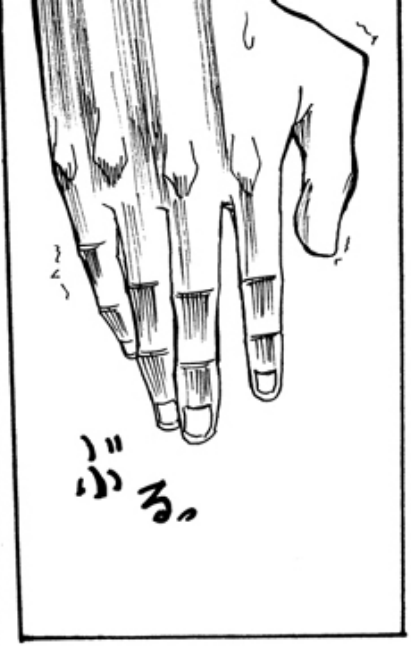


だが俺は
ここに
いる

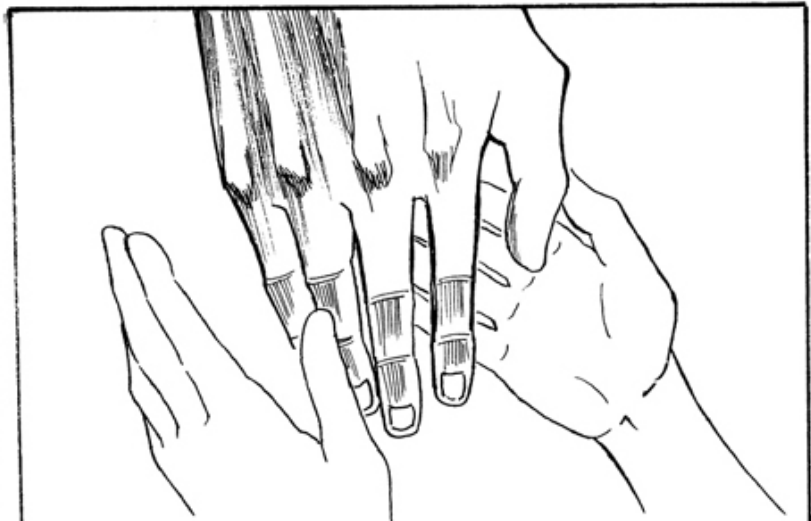
理由は
知らんが







怖いの？





その妹
神木玲奈は

巫覡の家系に
生まれた



玲奈は
巫覡としての
才能があり



明朗で
度胸もある

自分とは
真逆の
存在だった



なぜなら

だが正直
妬みや
不満はなかった





ええええちよっとお!
急に何してんの!??



唯玲奈が
一



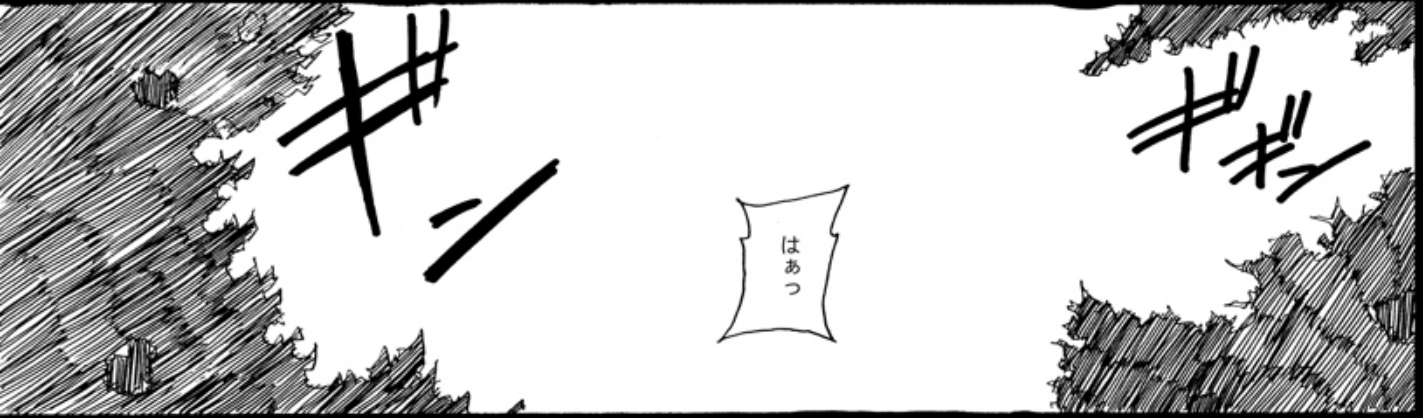
自分と
対等に
接してくれて

それを
心地いいと
感じたから
：だと思っ



しかし
そんな仲で
築かれた信頼が

僕の
臆病風に
拍車を
かけてしまう





戻れる
ものなら
戻りたい



逃げて

私は
大丈夫だから



お兄ちゃん

!!

僕はその
言葉に
甘えてしまった

玲奈なら
大丈夫



そんな
セリフを
言い訳に

自分の
臆病を
ごまかした



それが

追え!!

あっちに
向かった
痕跡があるぞ!

取り返しの
つかない事に
なると
知らずに







ほんと：
昔から泣き虫
：だね

：ああ

僕は泣き虫で
：弱虫だ



泣かないでよ
お兄ちゃん

寧々歌さん



お兄ちゃん
臆病だから
：：

勇気の出る
：：ように



ねえ
お兄ちゃん

：手を
繋いで
くれる？



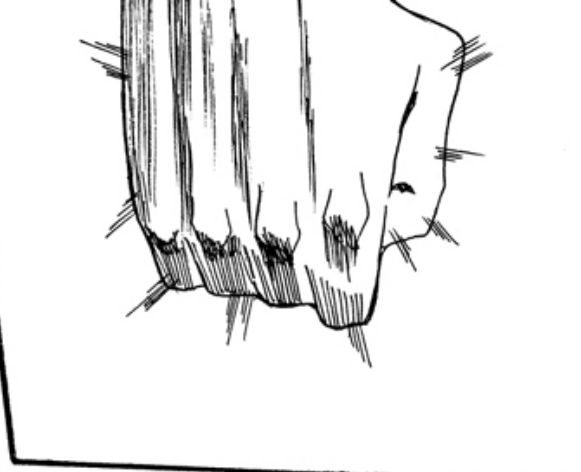
これで
怖くない：
：

でしょ？



：ほら
どう？

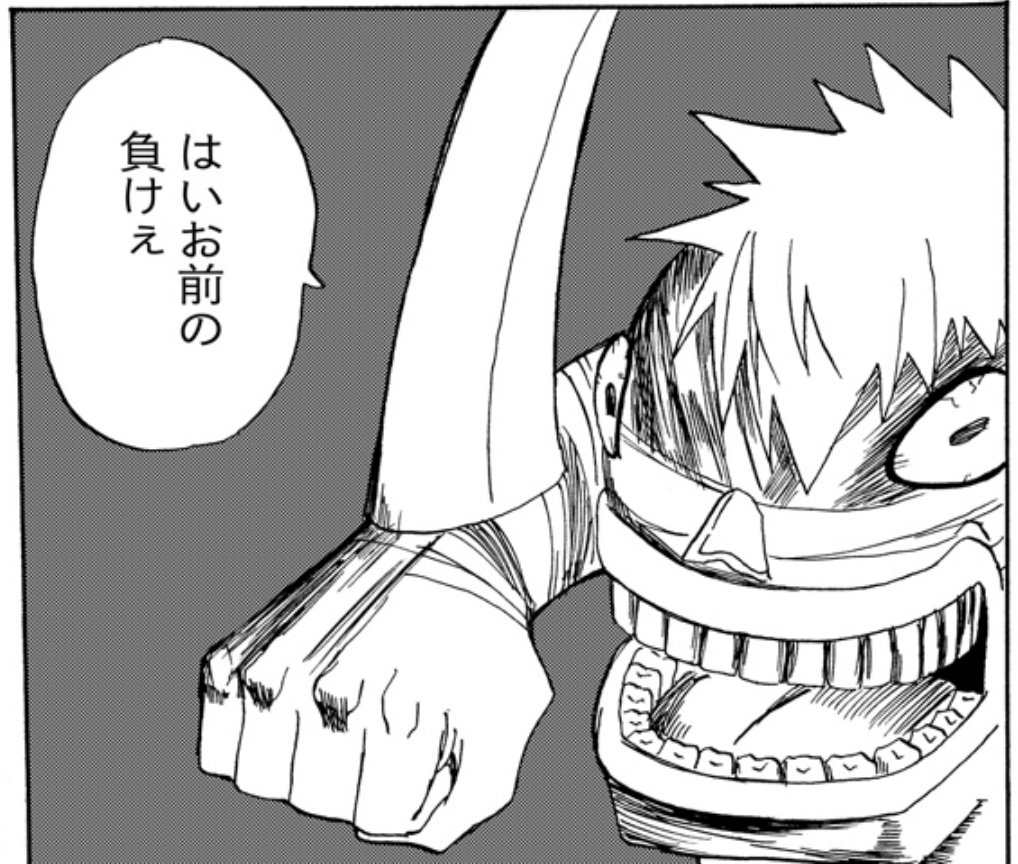
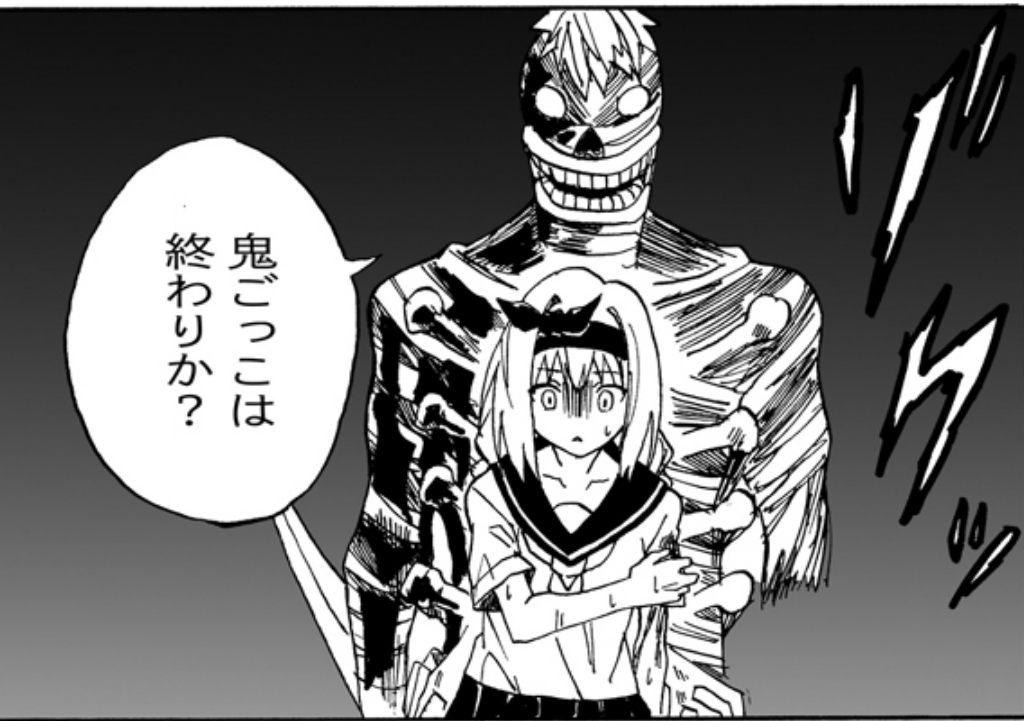
ぎゅん



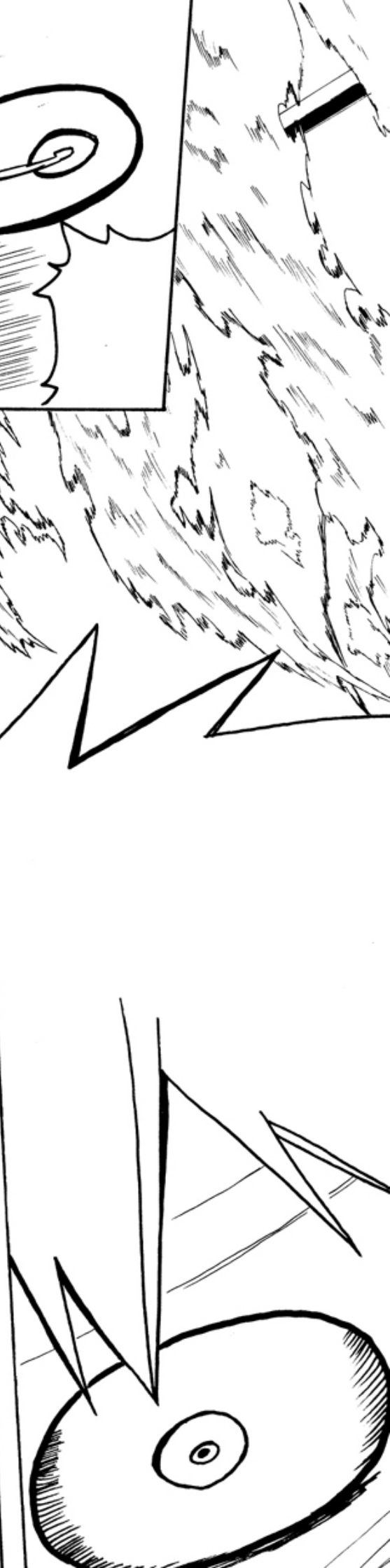
来い
!!!

寧々歌
!!!











邪魔をするなあ

!!!



ってオイ
織幡の方が
大怪我じゃねえか

と：とりあえず
落ち着いて止血して
人工呼吸!?

いや
アナタがまず
落ち着いて
くださいまし



やっと...

やっと
勝てる所だった
のに！



すべてに
勝ってくる
妹のテメエが
妬ましかった

俺はよお
兄である自分を
差し置いて





ふざけんなよ

なあどうなんだよ
どうせ見下して
たんだろ？

いいよなあ
天才は
何もせず何でも
できちまう!!



裏で
人一倍
頑張ってるだ



天才って
のは



俺は知ってる

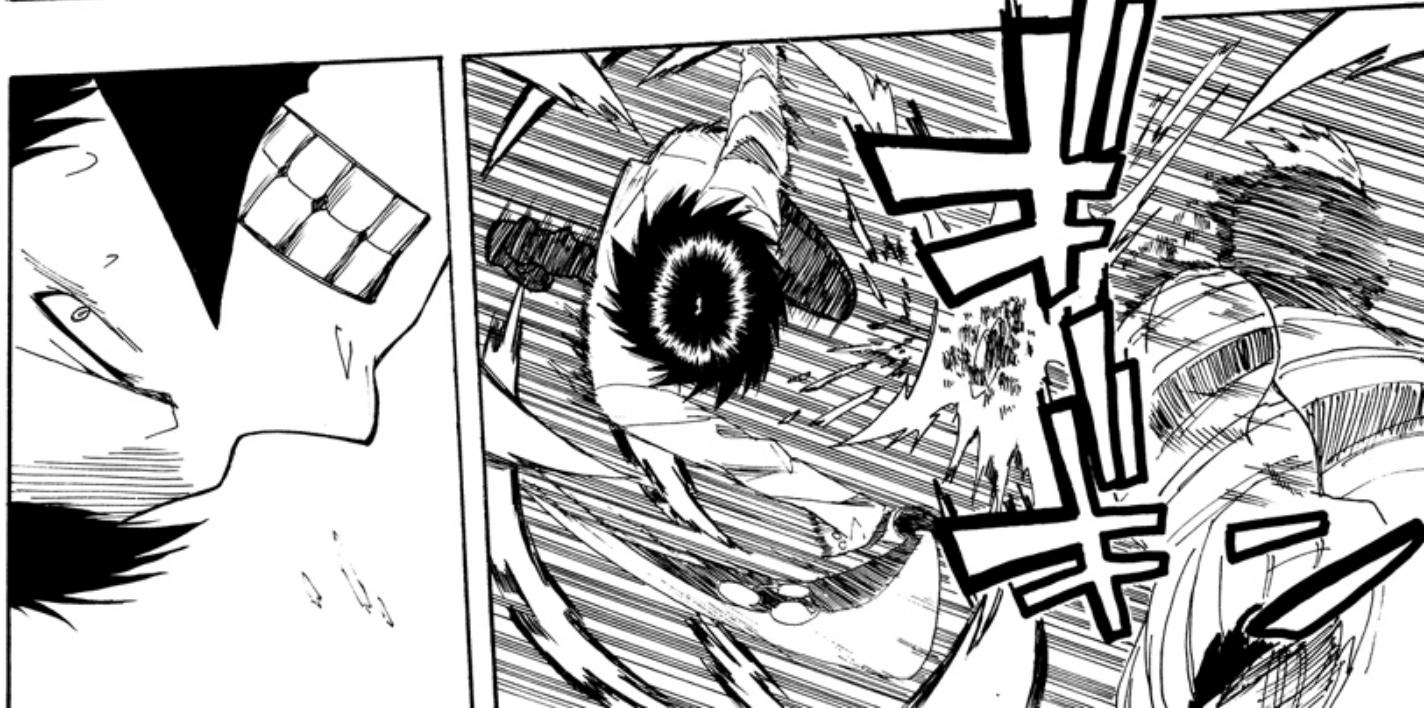
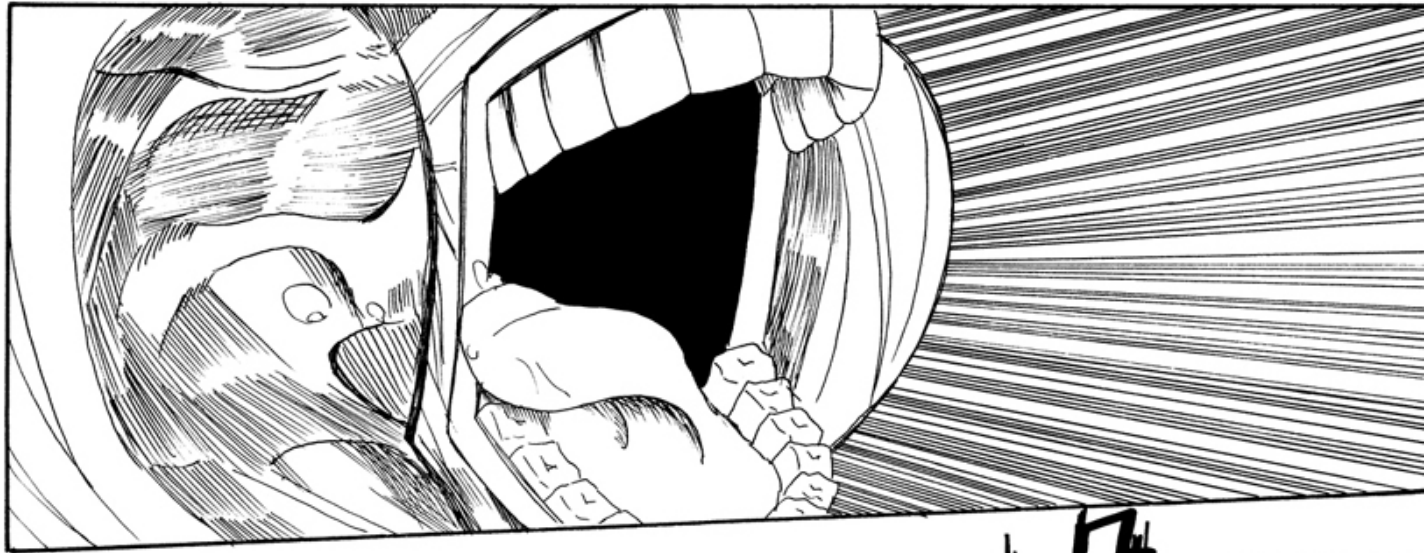


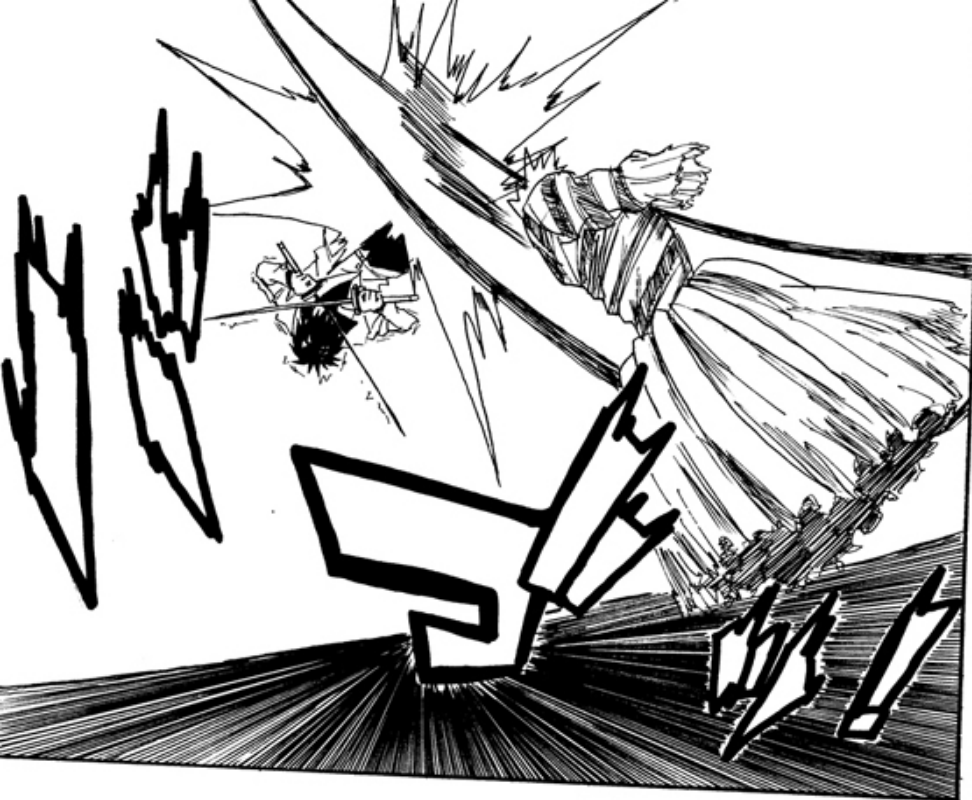
背中を押して
応援してやるのが
兄貴ってもんじゃねーのか

その天才が
妹だったっ
てんなら



聞いてんじゃねえよこのハゲ
!!!!







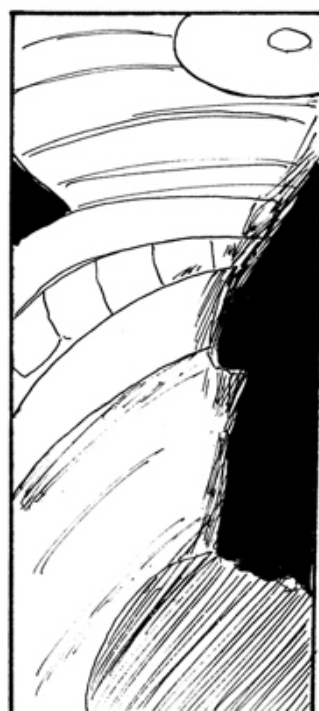
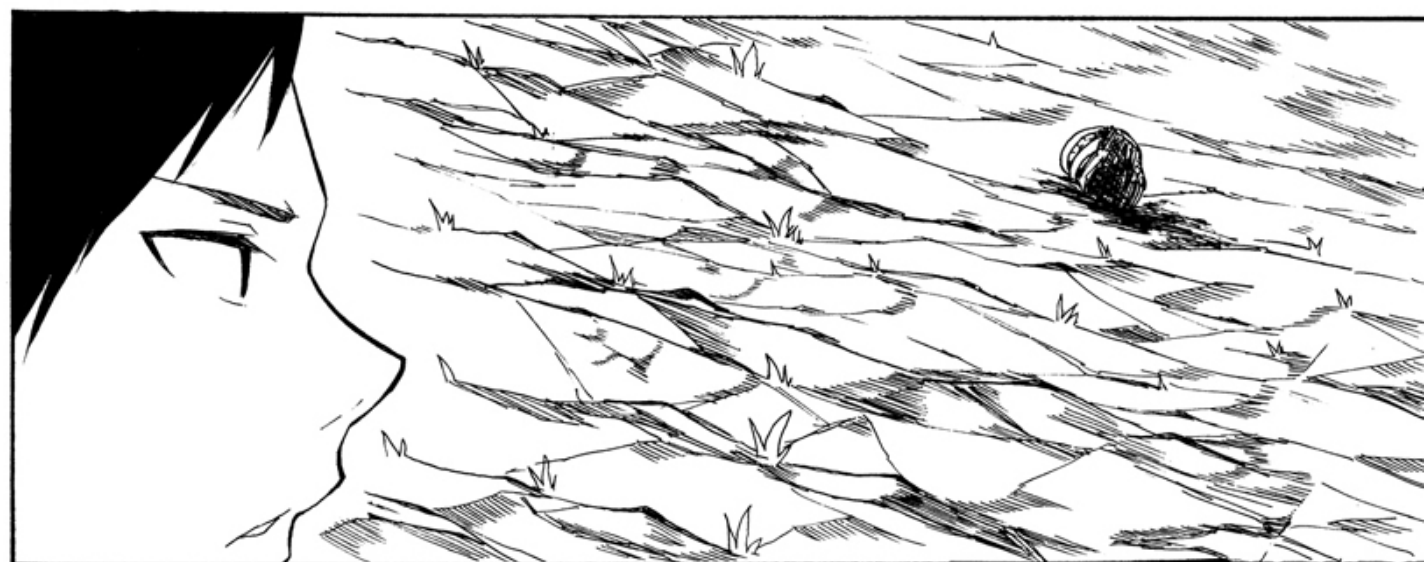




その怨嗟を
断ち切ることだ



速やかに
妖の首を



兄・さん





ごめんなさい…

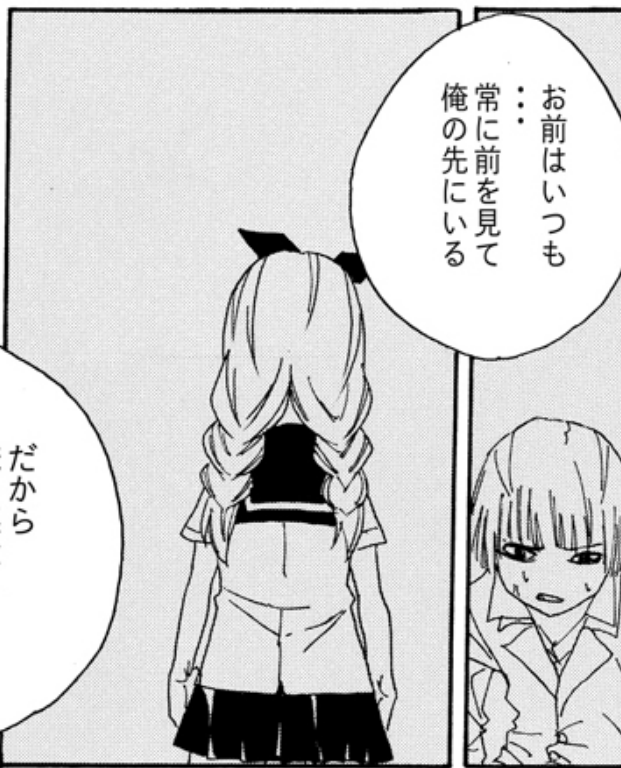
私：兄さんが
そんな風に
思ってたなんて

…知らなくて

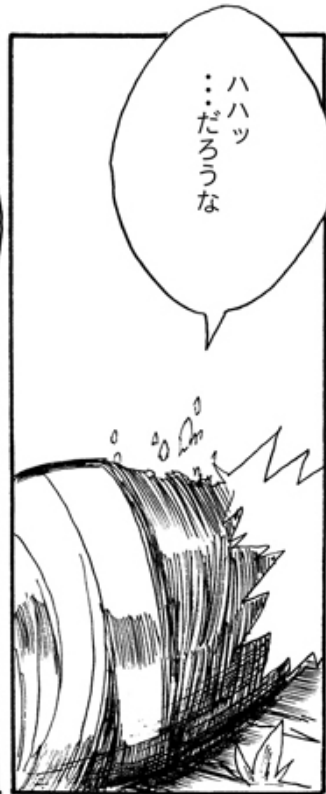


ほんとに…
呆れるほど
純粹なやつだよ

だから
俺の悪意に
気付かない



お前はいつも
常に前を見て
俺の先にいる



ハハッ
…だろうな



千鶴：…こんな
ダメな兄貴に
言われたか
ねえだろうが

…言わせてくれ

